

中学校 美術

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1**～大問 **2** については、マーク式解答用紙に、大問 **3**、**4** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **1**～大問 **2** の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

1 「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」（平成28年12月21日 中央教育審議会）及び「中学校学習指導要領」（平成29年3月告示）に関する内容について、次の（1）～（10）の問いに答えよ。

※中央教育審議会の内容については「第2部 各学校段階、各教科等における改訂の具体的な方向性」の「第2章 各教科・科目等の内容の見直し」の「8. 図画工作、美術、芸術（美術、工芸）」（以下、「答申」という）を引用している。

（1）「答申」の「（1）現行学習指導要領の成果と課題を踏まえた図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）の目標の在り方 ①現行学習指導要領の成果と課題」について、空欄【①】【②】に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

- 図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）においては、創造することの楽しさを感じるとともに、思考・判断し表現するなどの造形的な創造活動の基礎的な能力を育てること、生活の中の造形や美術の働き、美術文化に関心を持って、【①】態度を育むこと等に重点を置いて、その充実を図ってきたところである。
- 一方で、感性や想像力等を豊かに働かせて、思考・判断し、表現したり鑑賞したりするなどの資質・能力を相互に関連させながら育成することや、生活を美しく豊かにする造形や美術の働き、美術文化についての実感的な理解を深め、【②】態度を育成すること等については、更なる充実が求められるところである。

①

- 1 伝統や文化に向き合う
- 2 生活や社会と豊かに関わる
- 3 積極的に美術を愛好する
- 4 生涯にわたり主体的に関わっていく

②

- 生涯にわたり主体的に関わっていく
- 学習に向き合う
- 伝統や文化に向き合う
- 生活や社会と豊かに関わる

（2）「答申」の「（1）現行学習指導要領の成果と課題を踏まえた図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）の目標の在り方 ②課題を踏まえた図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）の目標の在り方」について、空欄【 】に入る正しい語句はどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

- 図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）で育成を目指す資質・能力について、「【 】」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」の三つの柱は相互に関連し合い、一体となって働くことが重要である。

- 1 関心・意欲・態度
- 2 知識・技能
- 3 鑑賞の能力
- 4 創造的な技能

- (3)「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第1 目標 (1)」について、空欄【 】に入る正しい語句はどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

対象や事象を捉える【 】とともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

- 1 多様な視点を持たせる
- 2 創造的な技能を習得する
- 3 造形的な視点について理解する
- 4 発想や構想の能力を育てる

- (4)「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕2 内容 B 鑑賞 (1) ア (ア) (イ)」の内容について、美術作品などの見方や感じ方を深める活動を通して、どのようなことを身に付ける指導が記載されているか。正しいものを1～4から一つ選べ。解答番号は

- 1 (ア) 造形的な面白さや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。
(イ) 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。
- 2 (ア) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。
(イ) 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。
- 3 (ア) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めること。
(イ) 使う目的や条件などを基に調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めること。
- 4 (ア) 造形的な面白さや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。
(イ) 構成や装飾の目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、愛情を深めること。

- (5) 「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕 2 内容 A 表現 (1) ア」について、空欄【 】に入る正しい語句はどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

感じ取ったことや考えたことなどを基に、【 】活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- 1 絵や彫刻などに表現する
- 2 主題を生み出す
- 3 鑑賞する
- 4 デザインや工芸などに表現する

- (6) 「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕 2 内容 A 表現 (1) イ (イ)」について、空欄【 】に入る正しい語句はどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容、社会との関わりなどから主題を生み出し、【 】を総合的に考え、表現の構想を練ること。

- 1 美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなど
- 2 使いやすさや機能と美しさなどとの調和
- 3 伝達の効果と美しさなどとの調和
- 4 単純化や省略、強調、材料の組合せなど

- (7) 「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕 2 内容 B 鑑賞 (1) イ (イ)」について、空欄【①】～【④】に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから、【①】のよさや美しさを感じ取り【②】を深めるとともに、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気付き、美術を通じた【③】や美術文化の【④】について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。

- | | ① | ② | ③ | ④ |
|---|-------|----|------|-------|
| 1 | 伝統や文化 | 愛情 | 国際理解 | 継承と創造 |
| 2 | 伝統や文化 | 理解 | 相互理解 | 発展と創造 |
| 3 | 歴史や文化 | 心情 | 相互理解 | 継承と未来 |
| 4 | 歴史や文化 | 理解 | 国際理解 | 発展と創造 |

- (8) 「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 1 (1)」について、空欄【 】に入る正しい語句はどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の【 】の実現を図るようにすること。その際、造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図ること。

- 1 主体的・調和的で深い学び
- 2 主体的・対話的で深い学び
- 3 創造的・対話的で深い学び
- 4 創造的・効果的で深い学び

- (9) 次の各文のうち、「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2 (3)」における各学年の「A 表現」の指導に当たっての配慮事項についての記述として、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

ア 見る力や感じ取る力、考える力、描く力などを育成するために、鑑賞の学習を効果的に取り入れるようにすること。
イ 美術の表現の可能性を広げるために、写真・ビデオ・コンピュータ等の映像メディアの積極的な活用を図るようにすること。
ウ 日本独自の表現形式、漫画やイラストレーション、図などの多様な表現方法を活用できるようにすること。
エ 表現の材料や題材などについては、地域の身近なものや伝統的なものも取り上げるようにすること。

- | | ア | イ | ウ | エ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | × | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |

(10) 次の文は「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2 (7)」の一部である。空欄【 】に入る正しい語句はどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

創造することの価値を捉え、自己や他者の作品などに表れている創造性を尊重する態度の形成を図るとともに、必要に応じて、美術に関する【 】などについて触れるようにすること。

- 1 知的財産権や肖像権
- 2 著作権や肖像権
- 3 著作権や占有権
- 4 知的財産権や所有権

2 (1)、(2)の問いに答えよ。

(1) 次の①～⑤の問いに答えよ。

① 19世紀の後半にイギリスで起こった、工業化を批判し中世趣味と職人技などを通じて生活の美化を目的とする、近代デザインの始まりに位置付けられた運動名として最も適切なものを1～4から一つ選べ。解答番号は

- | | |
|----------------|-------------|
| 1 アーツ・アンド・クラフツ | 2 アール・ヌーヴォー |
| 3 デ・ステイル | 4 バウハウス |

② ①の運動の中心となった人物として最も適切なものを1～4から一つ選べ。解答番号は

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 エミール・ガレ | 2 レイモンド・ローウィ |
| 3 ヴァルター・グロピウス | 4 ウィリアム・モリス |

③ 日本において、生活に根ざした「用の美」を唱え、「民藝運動の父」と呼ばれた人物として最も適切なものを1～4から一つ選べ。解答番号は

- | | |
|---------|----------|
| 1 梅原龍三郎 | 2 柳宗悦 |
| 3 本阿弥光悦 | 4 北大路魯山人 |

④ 図1は③の人物を生涯の師とした日本の染色工芸家芹沢銈介の作品である。彼の作品の特徴となる染色技法として最も適切なものを1～4から一つ選べ。解答番号は

- | | |
|-------|---------|
| 1 絞染 | 2 ろうけつ染 |
| 3 型絵染 | 4 手描染 |

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

「風の字文のれん」
芹沢銈介作
東北福祉大学
芹沢銈介美術工芸館蔵

図1

⑤ 図2の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のエンブレムのモチーフにもなった日本の伝統文様として、最も適切なものを1～4から一つ選べ。
解答番号は

- | | |
|-------|------|
| 1 青海波 | 2 市松 |
| 3 唐草 | 4 矢絣 |

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

「東京2020エンブレム 組市松紋」
野老朝雄作
東京オリンピック・パラリンピック競技大会

図2

(2) 次の図3～6に関する⑥～⑩の問いに答えよ。

<p>著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。</p> <p>「ダヴィデ像」 ミケランジェロ・ブオナローティ作 アカデミア美術館/ フィレンツェ</p>	<p>著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。</p> <p>「妙夢」 安田侃作 ピエトラサンタ駅前/ イタリア</p>	<p>著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。</p> <p>「コヤスケ」 石屋の道具 富士市立博物館 収蔵品照会</p>	<p>著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。</p> <p>「A Collaboration with Nature」 Andy Goldsworthy Harry N. Abrams, INC., Publishers</p>
図3	図4	図5	図6

⑥ 図3の作品（フィレンツェ、アカデミア美術館蔵）の作者名として最も適切なものを1～4から一つ選べ。解答番号は

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 オーギュスト・ロダン | 2 アンドレア・デル・ヴェロッキオ |
| 3 ミケランジェロ・ブオナローティ | 4 レオナルド・ダ・ヴィンチ |

⑦ 図3の人物像の高さは、彫刻作品である《ミロのヴィーナス》（パリ、ルーブル美術館蔵）の約何倍か。最も適切なものを1～4から一つ選べ。解答番号は

- | | |
|---------|-------|
| 1 約0.5倍 | 2 約1倍 |
| 3 約2倍 | 4 約3倍 |

⑧ 図4の作者名として最も適切なものを1～4から一つ選べ。解答番号は

- | | |
|-------------------|------------|
| 1 安田侃 | 2 ヘンリー・ムーア |
| 3 コンスタンティン・ブランクーシ | 4 イサム・ノグチ |

⑨ 図5は石の角を削り落とすために用いられる道具である。道具名として最も適切なものを1～4から一つ選べ。解答番号は

- | | |
|-----------|--------|
| 1 プライヤー | 2 コヤスケ |
| 3 バーニッシャー | 4 イモヅチ |

⑩ 図6は石など自然の物体を変形したり、彩色したりして自然環境のなかに置くのを特徴としている作者の作品である。作者名として最も適切なものを1～4から一つ選べ。

解答番号は

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1 ジェームズ・タレル | 2 ロバート・スミッソン |
| 3 アンディ・ゴールズワージー | 4 クリスト |

3 作品A～Cに関する(1)～(8)の問いに答えよ。

(1) 作品Aは、2019年4月、大規模な火災が発生した世界文化遺産に登録されている建築物を題材としている。その建築物を保有する国では、20世紀はじめ、国内外からたくさんの画家たちが集まり、芸術の中心地となった。それらの画家たちを総称して何というか。

(2) 作品Aの作者は(1)を代表する画家であり、《コタンの袋小路》等を描いている。作品Aの題材となっている建築物名と作者名を答えよ。

(3) 作品A・Bの題材となっている建築物に共通する建築様式を答えよ。

(4) 作品B・Cの作者は同一人物である。作者名を答えよ。

(5) 作品Bを所蔵している美術館を次の①～③より一つ選び、記号で答えよ。

- ① ひろしま美術館 ② ポーラ美術館 ③ 川村記念美術館

(6) 作品Cを所蔵している美術館は、世界文化遺産に登録されている。この美術館の名前を答えよ。

(7) (6)の美術館の設計者は誰か。次の①～③より一つ選び、記号で答えよ。

- ① ル・コルビュジエ ② ノーマン・フォスター ③ 黒川 紀章

(8) (4)の作者は、作品Bの他、同じ建築物を題材に30点余りの作品を制作している。このことをふまえて、作者及び作者の表現の特徴をどのように生徒に説明するか。簡潔に述べよ。

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

「Notre-Dame」
Maurice Utrillo
Musée de l'Orangerie

作品A

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

「ルーアン大聖堂」
クロード・モネ作
ポーラ美術館

作品B

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

「舟遊び」
クロード・モネ作
国立西洋美術館

作品C

4 「中学校学習指導要領（平成29年3月告示）第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕2 内容」について、「A 表現（1）ア（ア）」の事項を身に付けることができるよう「B鑑賞（1）ア（ア）」との関連を図った8時間の指導計画を作成する。（1）～（3）の問いに答えよ。

（1）題材名を次のように設定した。生徒の姿や活動の様子を具体的に想像し、「題材設定の理由」及び、「題材の目標」を記せ。

つくる活動	題材名	「生命を感じる姿を立体に表そう ～針金、粘土、絵の具を組合わせて～」
-------	-----	---------------------------------------

（2）これまでの内容をふまえた指導計画を次のように作成する。①では、生徒が題材に魅力を感じ、造形的な見方・考え方を働かせて主体的に主題を生み出せるようにしたい。①における第1時～2時の学習のねらいおよび学習活動を解答用紙に記せ。なお、第3時～7時の学習活動および内容とのつながりも重視すること。「○」は学習のねらい、「・」は学習活動として記せ。

時	学習のねらいおよび学習活動	
第1時～2時	課題の把握と発想・構想	①
第3時～7時	制作	○構想を基に自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。 ・①の内容をもとに、制作をする。制作途中で鑑賞の時間を設け、構想を実現するための材料や用具を用いて制作をする。 ○表現を深める。 ・発想をさらに豊かなものにし、材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表す。
第8時	鑑賞	○作品を鑑賞する。 ・他者の作品から、作者の心情や意図と創造的な工夫などを感じ取る。

（3）（2）の①の活動中における生徒の状況をA：「十分満足できる」、B：「おおむね満足できる」、C：「努力を要する」と判断したとき、C：「努力を要する」と判断した生徒の具体的な状況と、その生徒への指導方法の工夫を記せ。

